

高等学校

平成24年度

# ひろしま 平和ノート

～ ヒロシマ発 持続可能な社会の実現 ～

## 編集協力

### ◆平和教育プログラム策定委員

中山 修一 水本 和実 阪谷 文子 堀江 清二 河野 宏樹 平尾 順平  
塚本 修一 片山 英昭 佛圓 弘修

### ◆平和教育プログラム策定部員

池本 邦彦 黒瀬 貴之 佐藤 将記

●著作・編集 広島市教育委員会

●発行 広島市教育委員会 広島市中区国泰寺町1-4-21

●発行年月日 平成24年3月

●印刷・製本 株式会社テンプリント

●分類登録番号 広X3-2011-854

●表紙さし絵 広島市立基町高等学校普通科創造表現コース2年 斉藤 はるか



# ひろしま 平和ノート

～ ヒロシマ発 持続可能な社会の実現 ～

高等学校

年 組 名前

# 目次

<b>I</b>	<b>ヒロシマ</b> .....	<b>3</b>
学習 1	平和とは何か .....	4
学習 2	原子爆弾と被爆の実相 .....	6
学習 3	被爆体験者が伝えること ～中沢啓治さんからのメッセージ～ .....	8
参考資料	文部科学省が作成した高校生向けの 放射線等に関する資料 .....	10
<b>II</b>	<b>平和で持続可能な社会について</b> .....	<b>11</b>
学習 1	核兵器について考える .....	12
学習 2	ヒロシマに対する人々の思い .....	16
学習 3	ヒロシマから国際社会へ .....	22
<b>III</b>	<b>私たちの平和プロジェクト</b> .....	<b>25</b>
学習 1	平和の実現のために自分ができること .....	26
学習 2	私の平和プロジェクト .....	28
学習 3	私の目指す進路と「平和」 .....	30

## I ヒロシマ



これまでの平和学習を踏まえながら、平和とは何かについて考えを深める。また、原子爆弾投下時にヒロシマで何が起きたか、原子爆弾とその影響力について、科学的な観点から核兵器について学ぶとともに、被爆した人々の思いや生き方などを考えてみよう。

### ◆学習の流れ



# 学習 1 平和とは何か

## 平和について学んできたこと



(撮影/岸本吉太氏 提供/広島平和記念資料館)



(提供/ひろしまフラワーフェスティバル実行委員会)



金魚がきえた



(作/中沢啓治氏 提供/広島平和記念資料館)



(提供/朝日新聞社)

★平和に関する学習を振り返ってみましょう (あなたはどのようなことを学んできましたか)。

## グループワーク

4～6人のグループで話し合ってみよう。  
「ブレインストーミング」を活用し、多様な考えを聞き合いながら、各自の発言が尊重されるようにしよう。

「平和とは〇〇である」

## ブレインストーミングとは

ブレインストーミングは、創造性を促進し、多様なアイデアを生み出す方法であり、問題を解決したり、問いに対する答えを見つけたりするためのグループワークの手法の一つです。

### 【進め方】

- ・ブレインストーミングしたいと思う課題を決めます。様々な思いや考えが出せるような具体的な問いがよいでしょう。
- ・全員が見えるところに問いを書きます。
- ・自分たちの考えを自由に発言し、誰もが見ることができるところ(例えば模造紙など)に一語で、または短文で書いてもらいます。
- ・誰からもアイデアが出なくなったら、ブレインストーミングを終わります。
- ・提案されたことについて、一人一人のコメントを聞き合い検討していきます。

### 【留意点】

- ・新しい提案はどれも残さず書き留めます。創造的な提案が有効で興味深いものです。
- ・意見の提案が終わるまでは、他人の書いたものについて誰も意見を述べてはいけません。
- ・その場ですぐに否定的な感想や反応は避けましょう。また、くわしく聞いてみたいことなど、質問があるときも全員が出し合った後で尋ねるようにしてみましょう。
- ・できれば、すでに出された意見をくり返すことは避け、自分なりの新しいアイデアを出してみましょう。
- ・誰もが意見を出すように、お互いにしっかり傾聴してください。
- ・出されたアイデア(提案)の意味がよくわからない場合には説明を求め、しっかり聞いてみましょう。

※人権教育の指導方法等の在り方について [第三次とりまとめ]～実践編～より (平成20年3月人権教育の指導方法等に関する調査研究会議)

## 平和とは

## 学習 2 原子爆弾と被爆の実相

広島に投下された原子爆弾とその被害について、調べてみましょう。

### 原子爆弾の開発

1938年12月、ウラン235の原子に中性子を照射するとウラン原子核が分裂し、そのとき強力なエネルギーが放出されることが発見されました。続いてウランの原子核が分裂するときに2つ以上の中性子を放出することが発見されました。この現象を利用し、核分裂で出る中性子が他の原子にぶつかり、次々と核分裂を引き起こす「核分裂の連鎖」を導き、そこから莫大な破壊エネルギーを作り出すという構想が生まれました。この原理を発展させて生まれたのが原子爆弾です。

1942年からアメリカが行った原子爆弾製造計画、マンハッタン計画により開発された原子爆弾には2つのタイプがありました。一つは「爆縮型」の原子爆弾です。この原子爆弾は球体です。内部には臨界量以下にセットされたプルトニウム239が収められ、それを火薬の圧力で球の中心に向け圧縮し、臨界量以上にして核爆発に導くというものです。その外形がずんぐり丸いので、暗号名は「ファットマン(太った男)」と呼ばれ、長崎に投下されました。

もう1つが、ウラン235を使った「砲身型」の原子爆弾です。「ファットマン」と比べ、細長い形だったので、「シンマン」と呼ばれましたが、その後「リトルボーイ(小さな少年)」と呼ばれるようになりました。このリトルボーイが広島に投下されました。

リトルボーイの中には、大砲のような一本の筒が入っています。これが砲身型といわれるゆえんです。この筒の両端に核分裂物質のウラン235が取り付けられてあり、2つの固まりは、単独では分量が少ないために核分裂の連鎖反応を起こせません。その一方のウランを起爆装置の爆薬の力で反対側のウランに衝突させ、2つを合体することによって臨界量以上となり、ウランの核分裂の連鎖反応が始まります。



(所蔵/アメリカ国立公文書館 提供/広島平和記念資料館)  
▲広島に投下された原子爆弾「リトルボーイ」

### 原子爆弾投下後「10秒」



#### 第1段階 「放射線」 (0秒~100万分の1秒)

原子爆弾がさく裂する前。  
大量の中性子が発生する。

#### 第2段階 「火球の出現」 (100万分の1秒~3秒)

100万分の1秒内  
(さく裂前)爆弾内部の温度250万度まで上昇

100万分の1秒後  
火球の出現(大量のガンマ線を放つ)

100分の15秒後  
温度は40万度(太陽の表面温度の約70倍)、  
このとき火球の直径は20m、その0.2秒後には、  
直径310m)

#### 第3段階 (3秒~10秒)

熱線は3秒でおさまる。  
その後、衝撃波が街全体を襲う。衝撃波の速度は、  
3秒で1.5km、7.2秒で3km、  
10.1秒で4km

\*爆発後20分後に、「黒い雨」が降り始めた。

\*イラスト、解説はNHKスペシャル「原爆投下・10秒の衝撃」(1998年8月6日放送)より作成

### 熱線・爆風・放射線による被害

#### 熱線による人的被害

人が身につけていた衣服は、強烈な熱線によって焼け焦げました。多くの人たちが、血みどろになったボロボロの衣服を、わずかに身にまとい、瓦礫の街を逃げ惑ったのです。被爆当日、約35万人の人たちが直接被爆したと推定され、約14万人の人たちが、その年のうちに亡くなったとみられています。その中には、建物疎開作業現場に動員されていた、多くの中学校などの生徒たちも含まれています。

#### 熱線の身体に及ぼす影響

原子爆弾の爆発の閃光を爆心地近くにいた人は、黄赤色と感じ、遠くの場所にいた人は、マグネシウム燃焼のような青白色に感じたとされています。この火球から放射された強烈な熱線は、爆心地から半径3.5キロメートルまでの地域にいた人に火傷を負わせました。特に、1.2キロメートル以内にいた人は体の内部組織にまで大きな障害を受け、このため、数日のうちに死亡する人が続出しました。

#### 爆風による被害

爆発の瞬間、爆発点には数10万気圧という超高圧がつくられ、まわりの空気が大きく膨張して強烈な爆風が発生しました。その圧力は、爆心から500メートルの所でさえ、1平方メートルあたり19トンに達するという強大なものでした。このため、ほとんどすべての建物が押しつぶされ、人々も吹き飛ばされ大きな被害を受けました。

#### 爆風の人体に及ぼす影響

爆風により、人々は何メートルも吹き飛ばされ、失神する人や負傷する人、倒れた家の下に押し込められて圧死する人などがあいつぎました。爆風はあ

らゆる窓ガラスを砕き、人々の体内に容赦なく、無数のガラス破片をくいこませました。現在でも、体の異常を訴える人の体内からその時のガラスの破片を取り出すことがあるほどです。

#### 放射線による被害

原子爆弾の特徴は、通常の爆弾では絶対におこらない放射線の影響によって、人体に大きな障害が加えられたことです。爆心地から約1キロメートル以内にいた人は致命的な影響を受け、その多くは数日のうちに死亡しました。放射線の影響は、被爆後の急性障害だけでなく、その後の長期にわたって様々な障害を引き起こしました。「原爆後障害」と言われる白血病やガンなど様々な症状が2・3年ないし10数年の潜伏期間を経て発生し続けるなど、被爆者の健康を今日もなお、むしばんでいます。

#### 放射線が人体に及ぼす影響

放射線は人体の奥深くまで入り、細胞を破壊し、深刻な障害を引き起こしました。放射線による障害は、被爆直後だけでなく、何年もたって症状が現れる場合があります。放射線による影響については今でもまだ十分解明されておらず、今後も研究を続けていく必要があります。

#### 放射線による影響が大きい人体部分

放射線が人体におよぼす影響は、放射線の種類や体のどの部分に放射線があたったかによって違いがあります。放射線は、血液などをつくる骨髄、腸の粘膜、生殖器など、細胞が活発に分裂している部分に大きな影響を与えます。

(広島平和記念資料館Web Siteより)

### 学習のまとめ



## 学習 3

被爆体験者が伝えること  
～中沢啓治さんからのメッセージ～

(提供/広島平和記念資料館)

中沢啓治さんは、1939年広島市に生まれ、小学校1年生の時に原爆に遭います。中学校を卒業後、看板業に就く傍ら漫画を勉強し、1961年上京、漫画家としてスタートします。1968年、初めて原爆をテーマにした「黒い雨にうたれて」を発表、その後、次々と原爆や戦争をテーマにした作品を発表しました。

「週刊少年ジャンプ」に連載された「はだしのゲン」は、子どもたちの支持を大きく集め、戦争と原爆の実態を広く世の中に知らしめました。日本ジャーナリスト会議奨励賞をはじめ、イタリア・ゴールデンバルーン賞、第14回谷本清平和賞、広島市民賞など数々の賞を受賞し、アメリカでは、ダラス市名誉市民の称号を授与されました。現在、所有するすべての原画9,505点が広島平和記念資料館に寄贈されています。

ス市名誉市民の称号を授与されました。現在、所有するすべての原画9,505点が広島平和記念資料館に寄贈されています。

「はだしのゲン」は、中沢啓治さん自身の被爆体験をもとにした漫画で、1973年に連載が始まりました。

作者の分身である主人公中岡元(ゲン)が、原爆で家族を失いながらも、戦後をたくましく生き抜いていく姿が描かれています。現在、英語、ロシア語、韓国・朝鮮語、フランス語など、世界のさまざまな言語に翻訳され、世界を駆け巡っています。



(提供/広島平和記念資料館)

## 平和教育特別講演会 (2012年1月10日) 記録より

## 漫画家になりたい

僕は、絵を描くのが好きだった。小学校3年生から漫画家を目指していた。手塚治虫さんにあこがれていて、絶対に漫画家になるって決めていた。手塚さんの漫画を一生懸命模写した。画用紙を買うお金がなかったから、映画のポスターの裏を利用して…(略)…漫画を描いては投稿したね、17歳の時にはじめて入選して、すごくうれしかった。絶対に漫画家になると思っていたね。…(略)…お袋が脳内出血で倒れたんです。原爆病院に7年間入院しました。お袋にどうしても東京に出るって話して、22歳の時、思い切って東京に飛び出した。…

## お袋の死

僕は幸いデビューが早かった。なんとか漫画家としてやっていけるかなあと考えていたら、いきなり電報がきた、「母死す」。それであわてて広島に帰った。お袋はもう棺桶に入っていた。僕はお袋に感謝しましたよ。「お袋がいなかったら、僕はこうやってまともに生きていなかった。ありがとう」ってね。翌日、広島駅の近くの火葬場で焼いた。…(略)…僕は驚いた。骨がないんです。必死になってかき回しても、骨らしい骨がないんだ。頭にきた。「原爆は人間の骨までとっていくのか!」…

## 決意

それまで僕はね、東京では、原爆を受けたことは言わなかったんですよ。原爆を受けたとわかると、人が近寄らないんです。「放射能がうつる」って言うんですよ。…(略)…僕は原爆から逃げていた。だけど、お袋の骨がなかったとき、カーッと頭にきて、…(略)…「おれは、もう黙ってないぞ、自分に何ができるか、自分には漫画しかない」「漫画で原爆をとちめてやろう」って気持ちになって、1週間で原爆をテーマにした第1作「黒い雨にうたれて」を描いた。

## 8月6日

…僕は、学校の門柱のところまで被爆しました。倒れてきた塀の下敷きになって、瓦やレンガなどがいっぱい背中の上にのしかかって、必死になってはい出そうとした。…(略)…気が動転して、必死にはい出して、む

くっと見ると真っ暗なんですよ。さっきまで真っ青な空があったのに…(略)…さっき立っていたおばさんが、電車の中央へ吹き飛んでいて、…白い目玉だけがキラッと光って、僕の方を見ている。

…夢中で電車をわが家の方へ走って。やっとわが家に通じる路地まで行った…、もう前方は火の海です。…(略)…そこではじめて自分の心が動き出して、自分はひとりぼっちにされたって。恐ろしくなって、電車を走らしたり来たりしながらね。「お父ちゃん、お母ちゃん」と言って、泣き叫んで…(略)…その後、江波線の舟入川口町の電停へ向かいました。…真っ暗なんですよ。…「あつ、人だ」と思って近づくと、ガラスが全身に突き刺さっている。…それからまた進んでいくと、皮膚を垂らした人が、真っ黒な、素っ裸の人が出てくる。みんな皮膚が垂れている。…



…やっと舟入川口町の電停にたどり着いて、左の歩道を見ると、お袋がボーッと、ボロぎれ持って座っている。「ああ、やっと会えた」うれしくてね、お袋のそばにへなへなと座り込んだ。…お袋が大事そうに持っているボロぎれ、いったい何じゃろうかと思って覗いてみると、なんと赤ん坊がいるんですよ。お袋はあの8月6日に産気づいてね、路上で出産しちゃった。ひとりで。通りかかった人が何人か助けてくれたって。女の子。「知子」という名前をつけたんだけど、4か月ぐらいてしてから死んでしまった。お袋が栄養失調で乳が出なくて。…

## 父、姉、弟の死



(※中沢さんは、このときのお母さんの話をもとに、ゲンが体験したこととして漫画に描いています。)

…玄関口から弟の進が泣き叫んでいるんだ。足をバタバタさせながら「お母ちゃん、痛いよ痛いよ」って。…それで、おやじが「何とかせい!何とかせい!」って言っている。姉の声はしなかった。…お袋は満身の力でもって、倒れた柱をグューッと持ち上げるんだけど、ビクともしない。通る人通る人に、頭を下げて「お願いします、あれ持ち上げてください」って頼むとね、みんな「ああダメだダメだ、諦めなさい」って言って、みんな逃げていく。…もうどうすることもできない。…ハッと気がついてわが家の裏の方を見ると、炎がワーッとまわってくる。…弟の泣き叫ぶ体を抱きしめて、それで「お母ちゃんもみんなと一緒に死ぬけんね」って言ってね、そこに座り込んだ。…ワンワン泣いていたら、運良くわが家の裏に住んでいた人が通りかかって、泣いているお袋を見つけてね、「中沢さん、もう諦めなさい」と。…「お母ちゃん、熱いよ熱いよ」という声が耳の奥底にこびりついた。…

## 数日後の惨状

…焼け野原にコンクリートの防火用水の水槽が点在している。…どの水槽の中も膨れあがっていた。水ぶくれで膨れあがった母と子。これは母親だな、子どもを抱いているな。しっかりと子どもの体を抱きしめて。…次の水槽を見るとね、これは兄と妹だと、…しっかりと抱き合っている。水槽の中で膨れあがって死んでいる。…相生橋の上から本川を見ると、死体がびっちり埋まっている。潮の満ち引きとともに上下している。行ったり来たりしている。それが、ズブズブ、ズブズブと沈んでいく。…

## 父の言葉とゲン

僕は次の世代が、平和がどんなに大切かということを実際にわかってくれたら、僕の役目は終わるんですよ。…戦争は絶対にしちゃいかん。…核兵器を絶対になくしていかなくちゃいけない、そういう世代を育てなくちゃいけない。…漫画も一つの役目を果たしているじゃないかと、僕は思っています。そう自負しているんです。



(作/中沢啓治 提供/広島平和記念資料館)

## ★私たちのヒロシマからのメッセージ!



●放射線に関する副読本作成委員会『知っておきたい放射線のこと』より

## 放射線による影響

### 放射線による人体への影響

放射線の発見以降、研究や利用による研究者や医師などの過剰な被ばくや広島・長崎の原爆被災者の追跡調査などの積み重ねにより、放射線による人体への影響が明らかになってきています。

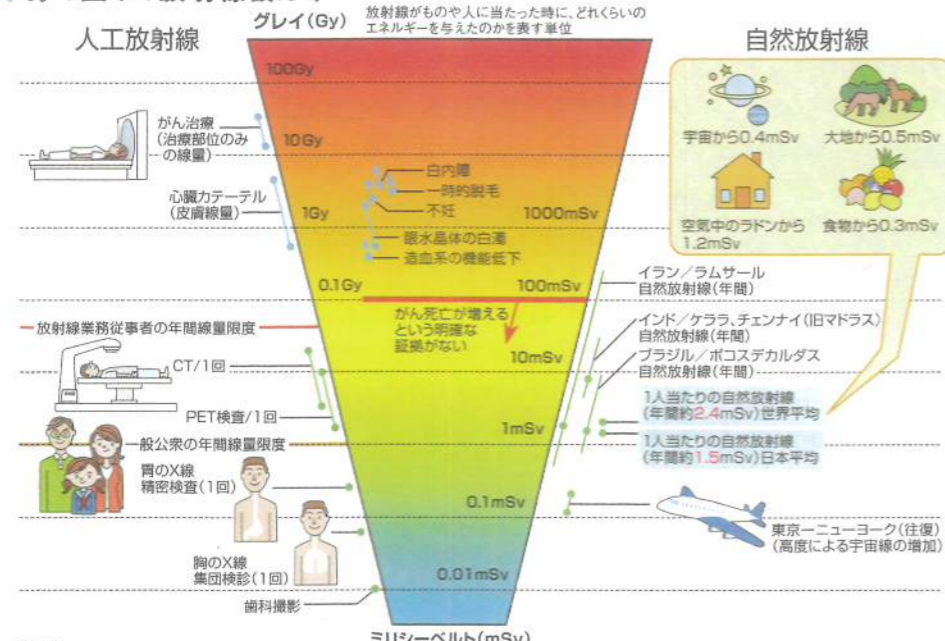
放射線が人体へ及ぼす影響の一つは、被ばくをした人の体に現れる身体的影響です。

身体的影響は、急性障害、胎児発生の障害及び晩発性障害\*などに分類されます。また、被ばくをした本人には現れず、その子孫に現れる遺伝性影響についても研究されていますが、遺伝性影響が人に現れたとする証拠は、これまでのところ報告されていません。

国際的な機関である国際放射線防護委員会(ICRP)は、一度に100ミリシーベルトまで、あるいは1年間に100ミリシーベルトまでの放射線量を積算として受けた場合でも、線量とがんの死亡率との間に比例関係があると考えて、達成できる範囲で線量を低く保つよう勧告しています。また、色々な研究の成果から、このような低い線量やゆっくりと放射線を受ける場合について、がんになる人の割合が原爆の放射線のように急激に受けた場合と比べて2分の1になるとしています。

ICRPでは、仮に蓄積で100ミリシーベルトを1000人が受けたとすると、およそ5人ががんで亡くなる可能性があると計算しています。現在の日本人は、およそ30%の人が生涯でがんにより亡くなっていますから、

#### ◆身の回りの放射線被ばく



1000人のうちおよそ300人ですが、100ミリシーベルトを受けると300人がおよそ5人増えて、305人ががんで亡くなると計算されます。

なお、自然放射線であっても人工放射線であっても、受ける放射線量が同じであれば人体への影響の度合いは同じです。

\*晩発性障害:長期間の潜伏期を経てがんなどが発生する

## II 平和で持続可能な社会について



国際社会の諸課題について、多面的・多角的に探究し、持続可能な社会に参画するという観点から、国際社会におけるヒロシマの役割について考えてみよう。

#### ◆学習の流れ



## 学習 1 核兵器について考える

今日、核兵器は世界に拡散しています。このことは、人類すべての安全や生活に関わる問題でもあります。ここでは、「核兵器の現状」、「核兵器に対する国際社会の対応」を中心に学習していきます。

### 核兵器の現状

#### 核兵器開発競争

1945年8月、原子爆弾が広島と長崎に投下され、人類は核兵器の恐ろしさを知ったはずでした。しかし、その後、核兵器はアメリカを中心とする西側陣営とソ連を中心とする東側陣営との対立である冷戦を反映して、核抑止論(※1)にもとづく核兵器の開発が進められました。そしてその間、イギリス・フランス・中国も核兵器を保有するようになりました。

また、いわゆる五大国(アメリカ・ソ連(ロシア)・イギリス・フランス・中国)以外にも、1998年にはインドが、続いてパキスタンが初めての核実験を相次いで行い、2005年には北朝鮮が核兵器保有を公式に宣言しています。さらに、臨界前核実験(※2)の度重なる実施、威力の小さい核兵器の開発も大きな問題となっています。

- (※1) 核抑止論 より強力な核兵器により敵国を脅かし、攻撃を思いとどまらせるという考え方。この考えのもとでは、相手よりもさらに上回る核兵器を持つことが必要になります。
- (※2) 臨界前核実験 人工的にプルトニウムやウランの連鎖反応開始前(臨界前)の状態を作り出し、核兵器の機能を調査するシミュレーションによる実験。



▲新型核兵器を報じる新聞



▲北朝鮮の核実験を報じる新聞

#### 核兵器の進化

東西冷戦体制のもと、各国の核兵器開発競争はとどまるところを知らず、1985年ころまでに核保有5か国によって蓄積された核兵器の総量は、爆発威力にしてTNT火薬22,000メガトン(220億トン)分と推定され、これは、広島型原爆の147万発に相当するものでした。単純計算すると、約2千億人の死者をもたらす、地球上の人類を35回以上殺せることとなります。

また、技術的にも飛躍的な進歩を遂げ、特にミサイル誘導技術が改良されて命中精度が上がり、核兵器の威力は著しく増大しています。1991年1～3月、中東のペルシャ湾周辺における湾岸戦争で使われた巡航ミサイル(CM)トマホークは、核弾頭を搭載できるとともに、コンピュータに目標地点までの飛行経路が記憶されており、自動的に進路を修正しながら飛び、ほとんど正確に着弾します。

核兵器運搬手段としても、敵のレーダー電波を反射しないように特殊加工を表面に施した「ステルス(stealth)」爆撃機や、密かに海中から弾道ミサイルを発射できる潜水艦などが開発されています。

50年に及ぶ核兵器開発競争は、小型化、運搬手段の長射程化、命中精度の向上と複数弾頭化、戦略・戦術核兵器の多様化の道を進んできました。

(広島平和記念資料館Web Siteより)

### 核弾頭数や保有国などについて調べよう

国名	※1保有核弾頭数
米国	85,000
ロシア	11,000
英国	225
フランス	300
中国	240
インド	80~100
パキスタン	90~110
イスラエル	80
北朝鮮	※2公開情報なし

(SIPRI年鑑2011より)

※1 保有核弾頭数は、実戦用としてミサイルや基地に配備されている弾頭のほか、備蓄中、解体待ち、実戦使用する前に準備を要する弾頭を含む推定数です。このうち、世界で5,000を超える核弾頭が実戦配備されています。

※2 北朝鮮は、2006年と2009年に核実験を実施しましたが、使用可能な核兵器を保有していることを確かめる公開情報はありません。2010年12月現在で、最大8発の核兵器を生産するだけの分離プルトニウムを備蓄していると推定されています。

### ●核兵器保有国に色をつけてみよう



★核兵器の現状について分かったことをまとめよう。

資料 「国際社会の対応」

(1) 核軍縮条約

核軍縮の取り組みは1960年代以降に始まりましたが、1963年に部分的核実験停止条約(PTBT)、1968年に核拡散防止条約(核不拡散条約, NPT)が結ばれました。

1987年には、アメリカ・ソ連間の初めての核兵器削減条約である、中距離核戦力(INF)全廃条約(※1)が調印されました。

さらに、1990年代に入り、冷戦が終わると、1994年にアメリカ・ロシア間の第1次戦略兵器削減条約(※2)「START 1」が成立しました。1996年には包括的核実験禁止条約(CTBT)が国連総会で採択されました。

21世紀に入り、2000年に開催された核不拡散条約(NPT)再検討会議は、「核兵器廃絶を達成する核兵器国の明確な約束」を盛り込んだ最終文書を採択しました。

国連で結ばれた主な条約

条約名	内容
部分的核実験停止条約(PTBT)	・大気圏内、宇宙空間及び水中での核実験を禁止する条約。 ・地下実験までは禁止していない。
核不拡散条約(NPT)	・核兵器を持つ国が増えることを防ぐ条約。 ・アメリカ、ロシア、イギリス、フランス、中国の5か国を「核兵器国」と定め、それ以外の非核兵器国には核兵器の取得等の禁止、核兵器国には核軍縮のための誠実な交渉等を義務付けている。5年ごとに再検討会議を開催することになっている。
包括的核実験禁止条約(CTBT)	・核爆発を伴うすべての核実験を禁止する条約。 ・発効(条約が効力を持つこと)には、条約で定められている44か国の批准(国会の承認)が必要であるが、アメリカや中国、インド、パキスタン、北朝鮮などは批准していないので、発効していない。 ・アメリカ、イギリス、ロシアは、核爆発を伴わないとして臨界前実験を行っている。

(※1) 中距離核戦力(INF)全廃条約

アメリカ・ソ連が配備している、射程が500kmから5,500kmの核弾頭及び通常弾頭を搭載した地上発射型の弾道ミサイルと巡航ミサイルの全てを廃棄することが規定された条約。これにより、米ソ両国で2,682基の兵器が破壊された。

(※2) 戦略兵器削減条約

敵対国の政治経済の中心などを直接攻撃する能力を有する核兵器(大陸間弾道ミサイル、潜水艦発射弾道ミサイル、有人戦略爆撃機搭載の核兵器)の削減などに関するアメリカとロシアの2国間条約。

(2) 国際司法裁判所(ICJ)(※3)の勧告的意見

1994年の第49回国連総会で、核兵器使用の国際法上の違法性について、国際司法裁判所(ICJ)の勧告的意見を要請する決議が採択されました。

この決議を受け、国際司法裁判所は、各国に書面陳述を求めるとともに、1995年に一部の国の口頭陳述を求めました。

なお、これに伴い当時の平岡敬・広島市長は、日本政府代表とともに、被爆地の証人として口頭陳述を行いました。

1996年7月、国際司法裁判所は、以下のような勧告的意見を出しました。

- ① 核兵器の使用・威嚇は、一般的に国際法に違反する。
- ② ただし、国の存亡にかかわる極限の状況の中で、自衛のための核兵器の使用が合法か違法かについては、確定的な結論を下せない。
- ③ 国際社会で核軍縮交渉を誠実に進め、交渉をまとめる義務がある。

この勧告的意見は法的拘束力を持つものではありませんが、権威ある国際法廷が「核兵器は一般的に国際法に違反する」との判断を下した意義は大きく、今後、核軍縮から核兵器廃絶に向けた動きを促進する上で、この判断を具体的に生かしていく必要があります。

(※3) 国際司法裁判所(ICJ: International Court of Justice)

国際紛争の司法的解決にあたる機関。国際連盟の常設国際司法裁判所を引き継ぐ機関として1945年に設立されました。

本部はオランダのハーグ。国連安全保障理事会と総会によって選ばれる15人の裁判官によって構成され、国家を当事国とする裁判を行うほか、法律問題に勧告的な意見を与えることができます。



(写真/アマナイメーجز)

この勧告は、核兵器廃絶の理念を明確にした画期的なものでした。



(3) 非核地帯

非核地帯(※4)は、条約によって設置されるもので、1959年の南極条約が最初で、定住者のいない地域では1967年の宇宙条約、1971年の海底非核化条約と続きました。

また、定住者がいる地域では、キューバ危機をきっかけに、中南米から核戦争の脅威を除こうとした1967年のラテンアメリカ核兵器禁止条約(トラテロコ条約)が最初で、1985年には太平洋諸国が南太平洋非核地帯条約(ラロトンガ条約)が締結されています。

東西冷戦の終結により、非核地帯設置の動きは広がりを見せ始め、新たに1995年に東南アジア非核兵器地帯条約が、1996年にアフリカ非核兵器地帯条約(ペリндаバ条約)が締結されました。

これに伴い南半球はほぼ全域が非核地帯で覆われることになりました。

非核地帯条約を実効性のあるものとするためには、当該地域の国々だけでなく、核保有国の条約への参加が不可欠です。



▲非核地帯 (広島平和記念資料館Web Siteより)

(※4) 非核地帯

一定の地域や空間を限って、その地域内における核兵器の製造・実験・配備を禁止するとともに、地域外の核保有国のその中での核実験・配備・使用を禁止するものです。

非核地帯に関する主な条約

	条約名	内容
1	南極条約	南緯60度以南の地域におけるすべての核爆発及び放射性廃棄物の処分を禁止するもので、42か国が署名及び批准。核保有国は5か国すべてが議定書に署名及び批准。
2	ラテンアメリカ核兵器禁止条約(トラテロコ条約)	条約適用範囲内の33か国すべてが署名(うち32か国が批准)。核保有国は5か国すべてが議定書に署名及び批准。
3	南太平洋非核地帯条約(ラロトンガ条約)	オーストラリア、ニュージーランドや地域の島しょ国でつくる政府間組織「南太平洋フォーラム(SPF)」構成14か国及び2地域のうち11か国及び2地域が署名(うち10か国及び2地域が批准)。核保有国は5か国すべてが議定書に署名。
4	東南アジア非核兵器地帯条約	東南アジア諸国連盟(ASEAN)の10か国が署名(うち8か国が批准)。核保有国は5か国すべてが議定書に署名していない。
5	アフリカ非核兵器地帯条約(ペリндаバ条約)	アフリカ統一機構(OAU)加盟53か国のうち49か国が署名(うち2か国が批准)。核保有国は5か国すべてが議定書に署名。

\*批准 条約を作成する最終手続で、国家が、ある条約の当事国となるための最終的意思を示す行為。



## 学習 2 ヒロシマに対する人々の思い

これまで、国の内外から多くの人々がヒロシマの地を訪れています。そして、被爆の実相、その後の復興の様子に触れる中で、さまざまなメッセージ、コメント等を残しています。ここでは、「ヒロシマに関わった人々」や2010年11月に広島で行われた第11回ノーベル平和賞受賞者世界サミット参加者のメッセージ、コメントなどを中心に学習していきます。

### 「ヒロシマ」の表記について

「ヒロシマ」の表記は、被爆都市として核兵器廃絶と世界平和の実現をめざす都市であることを意味します。なお、「広島」の表記は、広島の地、地域、広島という都市又は県域を示しています。

### ヒロシマに関わった人々

#### (1) 広島平和記念資料館訪問者のメッセージ

リハルト・フォン・ワイツゼッカー(ドイツ連邦共和国・元大統領)



(提供/広島平和記念資料館)

Wer Hiroshima besucht hat,  
wird sein Leben lang die  
Friedensbotschaft weitertragen in die Welt

Richard v. Weizsäcker  
8. VIII. 1985

(提供/広島平和記念資料館)

「ヒロシマを訪れたことのある人々は、以後生きていく限り、世界に平和のメッセージを伝えることだろう。」  
(署名) 1995年8月8日

ミハイル・ゴルバチョフ(ソビエト社会主義共和国連邦・元大統領)



(提供/広島平和記念資料館)

Вот не забудем никогда стра-  
дания Хиросимы. Здесь, мы и до  
сих пор все. Будем помнить жертв  
и скорбеть.

17. IV 1992 г.

(提供/広島平和記念資料館)

「歳月がヒロシマの悲劇の痛みを和らげることはできませんでした。このことは決して繰り返してはなりません。私たちは原子爆弾の犠牲者のことを決して忘れてはなりません。」

(署名) 1992年4月17日

ジミー・カーター(アメリカ合衆国・元大統領)



(提供/中国新聞社)

This memorial must be a  
constant & permanent reminder  
for all people to work  
for peace & better  
understanding.

Jimmy Carter  
5-25-84

(提供/広島平和記念資料館)

「この記念館は、すべての人々が平和とより良い理解に向けて努力することを絶えることなく永遠に思い起こさせるものでなければならない。」  
(署名) 1984年5月25日

毛利 衛(宇宙飛行士)



(提供/広島平和記念資料館)

両刃の剣である科学技術  
を使用する人間の哲学が  
問われていることが認識され  
る。毛利衛  
一九九四年五月七日

(提供/広島平和記念資料館)

「両刃の剣である科学技術を使用する人間の哲学が問われていることが認識される。」

(署名) 1994年5月7日

#### (2) 来広した人々

マザー・テレサ(1910~97) [1984年11月23日来広]



©女子パウロ会

マザー・テレサのコメント

「愛の業(わざ)は平和の業(わざ)である。神は互いに愛するようになるために我々をお作りになった。我々がお互いを愛すれば、我々は共に平和に生きることができるようになれる。私たちは祈りにおいて神と一体になる必要がある。原爆投下は真に悪の行為である。このようなことが二度と決して起こらないように祈りましょう。神が私たち一人ひとりをお互いに愛するように、お互いに愛し合ひましょう。」

(広島青少年センター主催「マザー・テレサ講演と映画の集い」、「愛と平和」の講演より)

マケドニアに生まれ、インドのコルカタのスラム街などで活動した、カトリックの修道女。孤児・病人・死にゆく人といったもっとも貧しい人々への献身的な奉仕活動に打ち込み、「孤児の家」「死を待つ家」などをつくる。1979年にノーベル平和賞を受賞。

ヨハネ・パウロ二世 (1920~2005) [1981年2月25日来広]



(写真: 毎日新聞社/アフロ)

ヨハネ・パウロ二世のコメント

「戦争は人間のしわざです。戦争は人間の生命の破壊です。戦争は死です。この広島町、この平和記念堂ほど強烈に、この真理を世界に訴えている場所はほかにありません。」

もはや切っても切れない対をなしている2つの町、広島と長崎は、「人間は信じられないほどの破壊ができる」ということの証として、存在する運命を担った、世界に類のない町です。」

この2つの町は、「戦争こそ、平和な世界をつくらうとする人間の努力を、いっさい無にする」と、将来の世代に向かって警告しつづける、現在にまたとない町として、永久にその名をとどめることでしょう。」 (平和記念公園での「平和アピール」より)

ポーランド生まれ。世界平和と戦争反対への呼びかけと、数々の平和行動を行った第264代ローマ教皇。(在位1978~2005)

潘 基文 (1944~) [2010年8月6日来広]



(写真: ロイター/アフロ)

潘 基文のコメント

「65年前のきょう、暗黒の日の恐怖に襲われた皆さんは、苦悩や怒り、絶望の中へと沈みこんでしまっていたかもしれません。」

しかし、皆さんはまったく違うメッセージを世界に流しました。皆さんにしかできない話を伝えてきたのです。それは、皆さんの家族や友人、最愛の人々が死んでゆく様子を目の当たりにした話であり、皆さんの美しい町が消え去る姿を目撃した話であり、その後何年何年にも、また、何世代にもわたって病氣や子どもへの後遺症におびえながら暮らす様子を伝える話でもありました。」

皆さんは私たちに、核兵器が人間にもたらす大きな犠牲について、真実を克明に語られました。そのうえで、決して忘れることのないよう、私たちに求めたのです。そして何よりも、皆さんは私たちに行動を求めました。行動すること、そして皆さんと手を携えてゆくこと。それこそ私が今ここにいる理由です。」

皆さんはそうすることで、広島を越える存在となりました。」

世界市民となった皆さんの声は、世界各地に響き渡っているのです。」

ノー・モア・ヒロシマ。ノー・モア・ナガサキ。

決して同じ過ちを繰り返してはならない、と。」 (広島での歓迎セレモニーにおける講演より)

韓国出身。  
大学卒業後、外務省(外交通商省の前身)入省、アメリカ駐在公使、オーストリア駐在大使、金大中政権外交通商省次官、盧武鉉大統領外交補佐官、外交通商相を歴任。  
2007年1月から第8代国際連合事務総長。

★学習を通して考えたことをまとめよう。

Blank box for student reflection.

### ノーベル平和賞受賞者世界サミット

(1) 第11回ノーベル平和賞受賞者世界サミット



2010年11月、第11回ノーベル平和賞受賞者世界サミット(※1)が、欧州以外で初めて広島市で開催されました。

同サミットでは、「ヒロシマの遺産：核兵器のない世界」をテーマに議論が行われ、各国政府に核兵器禁止条約の策定に向けた行動開始を要請することなど、具体的な6つの提言を盛り込んだ「広島宣言」が発表されました。

また、受賞者自らが核兵器廃絶のため具体的に行動しようと「ノーベル平和賞受賞者行動委員会」の設立が決定されました。

(※1) ノーベル平和賞受賞者世界サミット

ノーベル平和賞の受賞者たちが集い、世界的課題や人権擁護、暴力のない世界のために具体的提言等について議論を行っています。第1回世界サミットは1999年、ローマで開催されました。

### 資料1 核兵器廃絶に向けた広島宣言(一部抜粋)

ノーベル平和賞受賞者ならびにノーベル平和賞関連機関の代表者は、2010年11月12日から14日にかけて広島に集い、被爆者の証言に耳を傾けました。そして、人の暮らす地に核兵器を落とすことは人類に対する犯罪とみなされるべきであり、今後一切禁止しなくてはならないとの思いを強めました。

(略)

核兵器の存在をなくすことはできません。しかし、その存在を非合法化することは可能であり、またそうすることが必要です。ちょうど化学兵器や生物兵器、地雷、クラスター爆弾が非合法と宣言されたように。最も非人道的な脅威である核兵器もまた、「すべての国は、国際人道法も含め、適用される国際法を常に順守しなければならない」ことを改めて打ち出した2010年NPT再検討会議の見解に従い、非合法化すべきです。

(略)

私たちは、核軍縮に向けた国連事務総長の5項目提案を支持します。また、核兵器、核兵器技術、および核兵器部品の使用、開発、製造、貯蔵または移転を禁じる普遍的条約の策定に着手して、核兵器の完全かつ検証可能な形での撤廃に備えるべきだという提案にも賛同します。

(以下は提案等の概要)

- ・核兵器の使用は非道徳的かつ非合法であるという見解を広げていきます。
- ・アメリカ合衆国とロシアに対し、速やかにSTART合意を批准すること、すべてのタイプの核兵器をさらに削減していくことを要求します。
- ・核保有国に対し、現在貯蔵している兵器を大幅に削減するよう働きかけていきます。
- ・関連政府に対し、1995年の中東決議の目標達成に向けて、2010年5月の核不拡散再検討会議の最終文書で合意された提案を実行に移すため、直ちに行動を起こすよう働きかけていきます。
- ・私たちは、核実験全面禁止条約に完全な法的効力を持たせるために、関係国に対し同条約への調印及び批准を求めています。
- ・世界各国に対し、市民社会と協力して、核兵器廃絶に向けた普遍的条約の策定に着手するよう求めています。



(2) 第11回ノーベル平和賞受賞者世界サミット参加者  
マイレッド・コリガン＝マグワイア



「ヒロシマは、核兵器のない世界を目指すために何をしなければいいのか、その道筋を明確にしてくれる。そのことに感謝したい。子どもたちに暴力のない世界を大きな遺産として残すことは、夢ではない。わたしたち一人一人が、心から、平和と戦争のない、武器のない世界に向けて歩き出せば実現できる。」

1976年ベティ・ウィリアムズ氏と共に受賞。北アイルランド紛争終結のための活動が評価されました。甥や姪が紛争の犠牲になったことをきっかけに活動を始め、1976年NGO「ピース・ピープル」を創設。現在、名誉会長を務め、暴力のない世界の実現に向けて活動しています。

ダライ・ラマ14世



「ヒロシマ、ナガサキの心が広がっている。しかし、世界中すべてに届くには、まだ努力がいる。世界では、政府ではなく、人々が動きはじめています。今なお残る課題は、それをつくり出した人間が解決しなければならない。宗教を超えた行動で政府の決めたことを変えていくことが必要である。」

1989年受賞。チベット民族の解放を目指しながらも対話を重視し、非暴力を貫く活動が評価されました。チベット仏教最高指導者であり、チベット亡命政権の元首でもあります。非暴力の方策によるチベットの自由化と民主化のために尽力するとともに、地球環境問題にも取り組んでいます。

フレデリック・デクラーク



「地域紛争やテロ、核兵器の使用など、世界は多くの脅威に囲まれている。この話し合いで、核兵器の存在は、非合法的なものであり、反道徳的なものであることが確認できた。わたしたちにとって、ヒロシマは聖なる場である。ヒロシマは、核兵器のない世界を目指す模範的な役割を果たしている。」

1993年南アフリカ共和国大統領ネルソン・マンデラ氏と共に受賞。大統領としてアパルトヘイト(人種隔離政策)を撤廃し、南アフリカの民主化を進めたことが評価されました。投獄されていたマンデラ氏を解放し、互いに協力して南アフリカの民主化に尽力しました。

ジョディ・ウィリアムズ



「クラスター爆弾や地雷などの禁止運動では、人々の力によって大きな成果を成し遂げてきた。核兵器においても、わたしたちの努力でなくすことができる。核兵器で人類を脅かし権力の亡者となっているいくつかの国の政府に、わたしたちの声を聴かせなければならない。わたしたちノーベル平和賞受賞者は協力していく。」  
「あなたやわたしのような普通の人が行動することで、普通でないことが成し遂げられる。」

1997年受賞。地雷禁止国際キャンペーン(ICBL)の創設者として、対人地雷の禁止及び除去に向けた世界規模の活動が評価されました。また、シーリーン・エバーディー氏と「ノーベル女性イニシアチブ」を設立し、女性問題の解決にも取り組んでいます。

シーリーン・エバーディー



「ヒロシマを訪れるたびに、大きな悲しみを感じる。また、ヒロシマに住むみなさんの許す心に感動する。復讐ではなく、復興に力を注いだからこそ、広島美しい街が創られた。世界の人々は、ヒロシマから学ぶことがたくさんある。平和な世界を目指し、自分の力を出し尽くしたい。」

2003年受賞。人権問題、特にイランにおける女性や子どもの人権擁護への取り組みが評価されました。女性のイスラム(イスラム教徒)として初の受賞者です。現在、弁護士として多くの政治犯の事件を扱うとともに、大学において人権に関する講義を行っています。

モハメド・エルバラダイ



「人類は一つの家族である。人種、肌の色、宗教の違いは関係ない。対決ではなく協力を大切にする世界。いのちの尊厳、一人一人の存在を大切にする世界。人と人との違いを戦うことで解決するのではなく、別の方法で解決していこうとする世界。そんな世界を目指し、みんなで協力しよう。」

2005年IAEA(国際原子力機関)と共に受賞。IAEAの事務局長として、軍事目的の核不拡散と原子力エネルギーの平和利用に尽力したことが評価されました。原子力エネルギーの管理について、多国間で行うべきとの国際管理構想を提案しています。

★学習を通して考えたことをまとめよう。

## 学習 3 ヒロシマから国際社会へ

被爆地広島からは、広島市や広島県をはじめとする自治体、学校、市民団体などの様々な方面から平和推進や核兵器廃絶に向けての取り組みやメッセージの発信が行われています。ここでは、様々な取り組みやメッセージから、ヒロシマから国際社会へ伝えたいことを知るとともに、ヒロシマの役割について考えてみよう。

### ヒロシマの取り組み

#### (1) 広島市の取り組み

広島市は、長崎市と連携し、被爆都市として「核兵器のない世界の実現」に向け、平和市長会議の加盟都市など国内外の都市やNGO、国際連合などと連携し、核兵器の廃絶を世界に訴え続けています。

また、国際平和文化都市広島市は、「平和市長会議の充実強化」と「核兵器廃絶に向けた国内外の世論の醸成と市民の活動に対する支援」に取り組んでいます。

具体的な事業例として、原爆死没者の霊を慰めるとともに、恒久平和の実現を祈念する「平和記念式典」、世界に「和解」の道を提示してきたヒロシマの今後の行動などについて討論する「国際平和シンポジウム」、広島東洋カープの試合で平和をアピールする「ピースナイター」など、数多くあります。

海外でのヒロシマ・ナガサキ原爆展の様子



#### (2) 広島県の取り組み

広島県は、核兵器廃絶に関する取り組みとして、核兵器廃絶に関する広島県宣言などを行ってきました。

また、2011年10月には、核兵器廃絶のプロセスや復興・平和構築などの課題について、国際平和実現のための取り組みや広島が果たすべき役割を、「国際平和拠点ひろしま構想」として、取りまとめました。

#### 国際平和拠点としての広島の役割 〔「国際平和拠点ひろしま構想」から抜粋〕

- ◇核兵器廃絶のロードマップへの支援
- ◇核テロの脅威の削減
- ◇平和な国際社会構築のための人材育成
- ◇核軍縮、紛争解決、平和構築のための研究集積
- ◇持続可能な平和支援メカニズムの構築

#### (3) 児童・生徒の取り組み

##### ① 小・中学生

#### ◇こどもピースサミット



(写真提供/広島市広報課)

小学生による作文募集や、「平和の歌声・意見発表会」の開催、そして、生命の尊厳と一人一人の人間としての尊厳をテーマに「平和への誓い」を発信します。

#### ◇ひろしま子ども平和議会



平和意識の高揚と平和への主体的な取り組みの促進を図るため、平和記念式典への参列などのために広島を訪れる子どもたちと広島の子供たちが、平和のメッセージを発信します。

#### ② 高校生

#### ◇「ひろしま平和の歌」演奏・合唱



平和記念式典で歌い継がれている「ひろしま平和の歌」の演奏・合唱に、高校生も参加しています。伴奏 基町高校、舟入高校、広島商業高校など 合唱 舟入高校など

#### ◇演劇による平和の発信



演劇部がヒロシマ・平和をテーマにした創作劇を上演しています。大手町商業高校、舟入高校、沼田高校 など

#### ◇次世代と描く「原爆の絵」



「原爆の絵」は、基町高等学校普通科創造表現コースの生徒が、被爆者の証言に基づき、原爆被害の実相を後世に伝えるための貴重な資料として制作しています。若い世代が、原爆の絵の制作を通して、証言者の思いに触れることで、次世代に被爆体験を継承し、平和意識を高めることにつながっています。

#### ◇銅板折鶴



2010年ノーベル平和賞受賞者世界サミットにおいて、広島工業高校の生徒が、ノーベル平和賞個人受賞者への記念品として、銅板折鶴を制作し贈呈しました。

#### (4) 大学の取り組み

##### ① 広島市立大学

学部1年次生を対象に「ひろしま論」を開講しています。この講義は、広島市の歴史、行政、経済、産業、文化などを紐解いてその特色を知り、地域社会への関心を深め、地域社会の問題解決と将来の繁栄を思考できる幅広い見識をもった人材を育てることを目的としています。また、国際平和文化都市広島市の原点である被爆体験及び広島からの平和の取り組みについても講義しています。



##### ② 広島・長崎講座

広島市と長崎市では、被爆者の「他の誰にもこんな思いをさせてはいけない」というメッセージの意味を学術的に整理・体系化し、普遍性のある学問として次代を担う若い世代に伝えていくため、国内外の大学に「広島・長崎講座」を開設・普及することに取り組んでいます。2011年3月現在、広島・長崎講座は、国内42大学、国外16大学の計58大学で開設されています。



##### (5) 広島平和文化センターの取り組み



同センターが管理・運営する施設として、広島平和記念資料館、広島国際会議場、広島市留学生会館、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館があります。

広島平和文化センターは、広島の被爆体験を根底にすえ、その継承を図るとともに、国内外の平和研究機関、関係団体等と連携し、全人類的な視野に立って、平和思想の普及と国際相互理解・協力の増進を図り、世界平和の推進と人類の福祉の増進に寄与することを目的とし設立されました。

修学旅行生への被爆体験講話等



平和学習のために来広した修学旅行生や各種の団体などを対象に、被爆体験講話を行うとともに、原爆記録ビデオを上映しています。

「中・高校生ピースクラブ」の開催



市内の中・高校生を対象にした「中・高校生ピースクラブ」を開催しています。ピースクラブでは、原爆被害の実相を講義や実習を通して学び、平和に対する見識を高め、平和推進の人材育成を図ることを目的としています。



「被爆体験講話会」の定時開催



多くの人にヒロシマの心を伝えるとともに被爆体験を継承・伝承するため、平和記念公園を訪れる人々が予約なしで聴くことができる被爆体験講話会を開催しています。

「英語で伝えようヒロシマセミナー」の開催



海外への留学予定者等を対象に、原爆被害に関する基礎知識と英語による表現方法について学ぶ機会を提供しています。受講者が外国人と交流する中で、世界のより多くの人々に被爆の実相を伝えていくことを目的としています。

「ヒロシマ」の取り組みを調べる

ヒロシマの取り組みやヒロシマから社会に向けて伝えたいことについては、ホームページ、新聞、書籍やイベントなどから知ることができます。是非、こうしたメディアや機会に触れて、ヒロシマの取り組みやヒロシマから社会に向けて伝えたいことについて知り、そして考えてみてください。

ヒロシマで行われている平和に向けての取り組み等について調べてみよう。



★事前調査

★学習を通して考えたことをまとめよう。

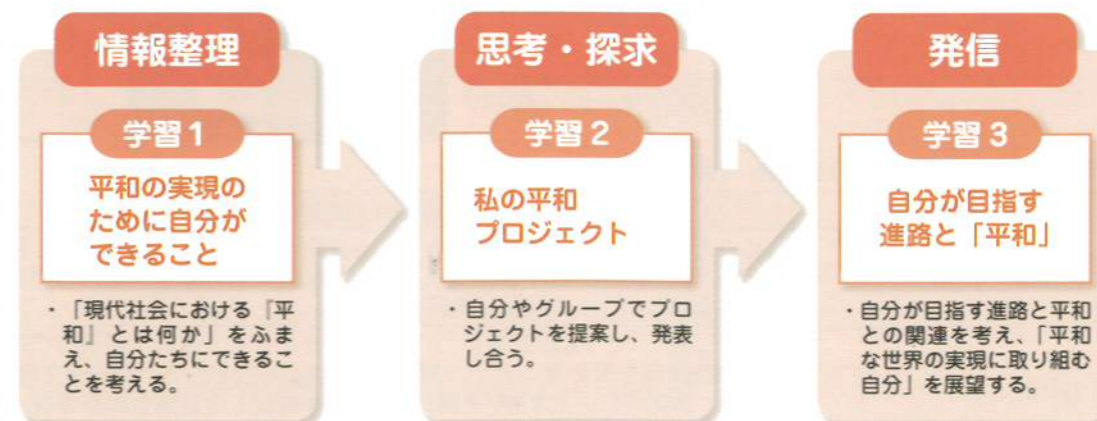
# III 私たちの平和プロジェクト



(写真/アマナイメージズ)

「平和な世界を創っていくために、自分に何ができるか、何をすべきか」を考えてみましょう。その一つとして、「平和な世界の実現」に主体的にかかわるための「私たちの平和プロジェクト」を提案してみよう。また、これまでの平和学習を振り返り、自分の進む道と平和との関連について考え、将来を展望しよう。

◆学習の流れ



## 学習 1 平和の実現のために自分ができること

ノーベル平和賞をもとに「現代における平和とは何か」を考え、平和な世界の実現に向けて自分ができることを考えてみよう。

### ノーベル賞

#### ノーベル賞

ダイナマイトの発明者として知られるスウェーデンの化学者・実業家アルフレッド・ノーベル(Alfred Nobel, 1833~1896年)の遺言にしたがって、1901年から始まった世界的な賞。物理学賞、化学賞、生理学・医学賞、文学賞、経済学賞、平和賞の6種類の分野で世界的に顕著な功績を残した人物に贈られます。

選考は「物理学賞」、「化学賞」、「経済学賞」の3部門についてはスウェーデン王立科学アカデミーが、「生理学・医学賞」はカロリンスカ研究所(スウェーデンにある医科大学)が行いますが、「平和賞」はノルウェー・ノーベル委員会が、「文学賞」はスウェーデン・アカデミーがそれぞれ行います。

日本人の受賞者は、湯川秀樹(1949年 物理学賞)、福井謙一(1981年 化学賞)、川端康成(1968年 文学賞)、佐藤栄作(1974年 平和賞)など、2011年現在、物理学賞6人、化学賞7人、生理学・医学賞1人、文学賞2人、平和賞1人、経済学賞0です。



1994年 文学賞  
大江健三郎

(写真: AFLO)



2008年 物理学賞  
益川敏英

(写真: ロイター/アフロ)



2010年 化学賞  
鈴木 章  
根岸英一

(写真: KURITA KAKU / GAMMA/アフロ)

(写真: AP/アフロ)

#### ノーベル平和賞

創設者のノーベルの遺言にもとづき、「国家間の友愛関係の促進、常備軍の廃止・縮小、平和のための会議・促進に最も貢献した人物」に授与されます。

選考委員会では「平和」の概念を広く解釈し、受賞者は広い意味で「平和」に貢献した人物・団体に及んでいます。

また、業績で評価される物理学賞や化学賞などと違い、現在進行形の事柄に関わる人物が受賞対象になることが多いのも特徴です。

1901年第1回ノーベル平和賞受賞者は、赤十字を創設したスイス人のアンリ・デュナンと、フランス人で平和活動家のフレデリク・パシーです。

(写真: AP/アフロ)

ワンガリ・マータイ(2004年)



ノーベル平和賞受賞者 (近年の受賞者 1999~2011年)

年	受賞者	受賞理由・活動
1999	国境なき医師団	全ての人が医療を受ける権利があり、また医療の必要性は国境よりも重要だという信念に基づき、貧困地域や紛争地域、災害地域を中心に、緊急医療援助をはじめとした国際支援活動を行う。
2000	金大中(韓国)	北朝鮮に対して、「太陽政策」(※軍事力ではなく、人道的・経済的援助や文化的交流等を深めることで、将来の南北統一を図ろうとする外交政策)を志向。2000年に、北朝鮮(平壤)で金正日総書記との首脳会談が実現。
2001	コフィー・アナン 国際連合	国連の「縦割り」を是正する等の行政改革に取り組む。任期中に、国際刑事裁判所設立(2003年発足)、途上国の開発目標などを定める国連ミレニアム宣言が採択(2000年)。国連はアナン事務総長とともに受賞。

2002	ジミー・カーター(アメリカ)	数十年間にわたり、国際紛争の平和的解決への努力を続け、民主主義と人権を拡大させた。経済・社会開発にも尽力したことを評価。
2003	シーリーン・エバーディー(イラン)	イラン初の女性裁判官となり、その後、弁護士として法曹界で活躍。イスラム法の厳格な施行のもとで女性や子供の地位が制限されていることを訴え、現代の人権思想に適合した法改正を訴えて活動。
2004	ワンガリ・マータイ(ケニア)	土壌の浸食と砂漠化を防止する植林活動。民主化や持続可能な開発の推進、および平和への貢献。環境分野の活動家としては史上初のノーベル平和賞を受賞。アフリカ人女性として史上初。
2005	国際原子力機関 モハメド・エルバラダイ	核エネルギーの軍事利用を防ぎ、平和利用を可能な限り確実にしてきた国際連合傘下の国際機関。元事務局長モハメド・エルバラダイも受賞。
2006	グラミン銀行 ムハマド・ユヌス(バングラデシュ)	小額融資を多くの人々が利用できるようにすることで、バングラデシュの貧困層を対象とした低金利の無担保融資を行うなど、経済的・社会的発展に努力。銀行総裁のムハマド・ユヌスとともに受賞。
2007	気候変動に関する政府間 パネル アル・ゴア(アメリカ)	国際的な専門家で作る、地球温暖化についての科学的な研究の収集、整理のための政府間機構。地球温暖化等の気候変動に関する最新の科学的知見を提供。元アメリカ副大統領アル・ゴアとともに受賞。
2008	マルッティ・アハティサーリ(フィンランド)	国連特使としてコソボ地位問題やインドネシアのアチェ和平合意など、世界各地の紛争解決に尽力。複数の大陸で30年以上にわたり、国際的な紛争問題の解決に努力。
2009	バラク・オバマ(アメリカ)	「核なき世界」に向けた国際社会への働きかけを評価され受賞。就任してから1年も経っていない首脳の受賞は異例。
2010	劉曉波(中華人民共和国)	中国在住の中国人として初の受賞者。受賞理由は「中国における基本的人権のために長年、非暴力的な闘いをしてきた」こと(受賞委員会)。
2011	エレン・ジョンソン・サーリーフ(リベリア共和国) レイマ・ボウィ(リベリア共和国) タワックル・カルマン(イエメン共和国)	アフリカ初の女性大統領。リベリアの平和の安定と、経済的・社会的発展の促進、さらに女性の地位の強化のために尽くしてきた。平和活動家。民族的、宗教的な境界線を越えて女性たちを組織し、リベリアの長い内戦に終わりをもたらし、女性の選挙参加の道筋をつけた。ジャーナリスト。女性の権利や報道の自由、政治犯の釈放などを求め、民主主義、平和を求める闘いにおける主導的な役割を果たす。

(1) どのような活動をした人物(団体)がノーベル平和賞を受賞しているだろうか。

(2) ノーベル平和賞受賞者を参考に、平和の実現に向けて、自分にできることは何だろうか。身近なことから、具体的に考えてみよう。

## 学習 2 私の平和プロジェクト

平和な世界を実現するための「自分発」のプロジェクトを提案しよう。

### ●平和プロジェクト作成の手順

- ① 自分にとっての「平和」とは何かを考え、その実現に向けた取り組みを考えます。
  - ・これまでの学習を振り返り、自分にとっての「平和」とは何かを考えます。
  - ・自分自身が、主体的かつ持続的に取り組める活動を、具体的に考えます。
    - \*主体となるのはだれか。個人？グループ？
    - \*活動の目的・内容・場所・期間・方法は？
    - \*活動するために必要な物は何か。
    - \*活動の成果をどう周囲(世界)に還元・発信していくか。



- ② グループで発表し合い、意見交換します。
  - ・グループ内で自分の提案を発表し合います。
  - ・それぞれの提案について、質疑応答を行い、感想・意見・改善点を交流します。



- ③ グループ内でプロジェクト案をひとつにまとめます。
  - ・グループ内での意見交流を経て、グループとしてのプロジェクト案を一つにまとめます。
  - ・具体的な提案を作成します。

### 私の平和プロジェクト案

### 私の平和プロジェクト「グループ案をまとめよう」

- プロジェクト名
- プロジェクトの目的
- プロジェクトの主体
- 活動内容・方法
- 活動場所や活動期間
- 必要なもの(必要な経費)
- 活動の成果の還元・発信方法
- その他

### ●グループワークを終えて

### 学習 3 私の目指す進路と「平和」

自分が目指す進路と関わらせて「平和」をとらえ、「平和」を創る主体としての自分の在り方を考えよう。

● 「マインドマップ」で自分をとりまく「平和」を見つめ直してみよう。

#### 「マインドマップ」とは

「自分の考えを絵や図で見える形にする思考整理術・発想術」のこと。関連のあるもの、連想するものを次々に広げていき、思考や発想を広げ、整理することができます。

#### マインドマップの方法

- (1)中心となるものを設定します。
- (2)中心からイメージする言葉(キーワード)を数個(10個以内)、中心から伸ばしたブランチ(枝)に書きます。  
(ポイント! キーワードは視点を交えてイメージします。そうすると連想が広がりやすいです。)
- (3)それぞれのキーワードから連想する具体的な言葉を自由に書き出してみます。
- (4)書き出した言葉から別の言葉が浮かんだら、ブランチを増やして書き足します。



マインドマップの例

目的：自分を見つめ直し、将来の進路を考える。

#### 自分と平和をつなぐマインドマップ

「平和」と関わる(「平和」から連想する)もの・ことがら・行動・感情などを書き出し、そのひとつひとつと自分とのつながりをたしかめてみよう。マインドマップは可能な限り広げていこう。

#### まとめ 自分が目指す進路と「平和」について